

高齢者孤立化防止活動

ちば **SSK**
しない、させない、孤立化!
プロジェクト

地域支え合い

事例報告

活動をこれから始めたい方、既に活動している方へのヒントを集めました

平成25年3月
千葉県

みんなが安心して高齢期を迎えられる、 共に支え合う地域づくりをめざして

千葉県は、全国2番目の増加率で急速に高齢化が進むと見込まれており、家族の絆、地域の絆が極めて希薄になっている中、急増する独居高齢者世帯や高齢者のみ世帯、認知症高齢者などへの支援のあり方が大きな課題となっています。また、東日本大震災では、災害弱者に対し、安否確認や安全な避難場所の確保、生活再建支援等をどのように行っていくべきか、改めて多くの課題が浮き彫りになりました。

このような背景より、地域の要援護者・高齢者の方々が安心して自立した生活を送ることのできる環境をつくるためには、住民組織、民生委員、NPO、医療・介護関係者など、様々な地域資源が連携し、見守り、声掛けを始めとした地域支え合い体制づくりを推進していく必要があります。

千葉県では、地域支え合い体制づくりを推進し、それぞれの地域での取り組みの参考とするため、地域支え合い活動に継続して取り組んでいる団体から、活動の立ち上げや継続にあたって直面した資金やスタッフの確保、ノウハウの取得等に対する実際の対応方法について伺い、活動をこれから始めたい方、既に活動している方へのヒントを集めました。

また、県内で特色ある活動に取り組んでいる団体について活動状況や他の団体との連携や情報発信の状況等を伺い事例集として取りまとめました。

(1) アンケート調査

◆調査対象：

- ・2011年度に地域支え合い体制づくり事業補助金を活用して事業を行った団体
- ・高齢者や障害者等への福祉関連サービスを提供、支援している市民活動団体や自治会・町内会等
- ・上記団体に対し、郵送法による自記式アンケートを行った。

◆対象者抽出方法：

- ・2011年度地域支え合い体制づくり事業補助金を活用した団体リスト
- ・オープンデータによるNPO法人のリストより抽出。

◆調査時期：

2012年7月20日～8月31日

◆サンプル数：

232件 ※回収率：53.3%(発送数 435件)

(2) 個別調査

◆調査対象：

- ・千葉県内で「地域支え合い活動」を行っている、NPO法人、社会福祉法人、任意団体、自治会・町内会などの市民活動団体

◆対象者抽出方法：

- ・先行して実施した郵送法によるアンケート調査結果をもとに、優良事例、先進事例、継続している事例等の団体を、地域、組織形態、活動内容に偏りがないように抽出。

◆調査事項：

- ・団体の概要
- ・活動状況
- ・他の団体等との連携と情報発信について
- ・活動における問題点と対処状況
- ・取り組む上で先進的な点・工夫している点
- ・今後の活動に向けて
- ・災害・緊急時における要援護者支援の状況

◆調査時期：

2012年11月12日～12月18日

この事例報告が、地域住民の一人ひとりが地域支え合い活動の必要性を認識するためのきっかけとなり、高齢者・要援護者の方々が地域で健やかに生活するための「元気な千葉県」づくりの一助となれば幸いです。


目次

市民活動団体における地域支え合い活動の取り組み状況	4
地域支え合い活動の課題と活動団体の対応例	8
始めよう、地域支え合い活動 <活動のヒント集>	13
資金不足を解決したい	15
ボランティアになりたい/スタッフを確保したい	16
ネットワークをつくりたい/他の団体等と連携したい	17
地域の人に活動内容を知ってもらいたい	18
自治会で新たな取り組みを始めたい	19
市町村でも市民活動団体への支援方法を考えよう	20
特色ある地域支え合い活動の取り組み	21
地域支え合い活動事例集(団体別詳細)	28

No.	団体名	市町村区分	メインの活動	頁
1	ちば地域再生リサーチ	千葉市	サロン活動	P29-30
2	地域のたすけあい市川ユアアイ協会	市川市	サロン活動	P31-32
3	富来田ふれあいの会	木更津市	サロン活動	P33-34
4	常盤平団地自治会	松戸市	サロン活動	P35-36
5	茂原市社会福祉協議会	茂原市	サロン活動	P37-38
6	流山ユウ・アイネット	流山市	サロン活動	P39-40
7	C&Cクラブ	流山市	サロン活動	P41-42
8	鴨川市社会福祉協議会	鴨川市	サロン活動	P43-44
9	富津市社会福祉協議会	富津市	サロン活動	P45-46
10	ふれあい大松	白井市	サロン活動	P47-48
11	恵み野会	富里市	サロン活動	P49-50
12	南房総市社会福祉協議会	南房総市	サロン活動	P51-52
13	美郷会	山武市	サロン活動	P53-54
14	住み続けたいまちづくりの会	大網白里市	サロン活動	P55-56
15	千葉市社会福祉協議会小中台西地区部会	千葉市	見守り活動	P57-58
16	大宮台自治会	千葉市若葉区	見守り活動	P59-60
17	坪井地区社会福祉協議会	船橋市	見守り活動	P61-62
18	館山市社会福祉協議会	館山市	見守り活動	P63-64
19	幸谷町会	松戸市	見守り活動	P65-66
20	矢切地区社会福祉協議会	松戸市	見守り活動	P67-68
21	松戸市明第一地区社会福祉協議会	松戸市	見守り活動	P69-70
22	東金市長寿の会連合	東金市	見守り活動	P71-72

No.	団体名	市町村区分	メインの活動	頁
23	宅老所 虹の家	我孫子市	見守り活動	P73-74
24	浦安市老人クラブ連合会	浦安市	見守り活動	P75-76
25	八街市社会福祉協議会	八街市	見守り活動	P77-78
26	トータルライフサポート	千葉市	研修等の人材育成	P79-80
27	東総権利擁護ネットワーク	銚子市	研修等の人材育成	P81-82
28	ユアアイやちよ	八千代市	研修等の人材育成	P83-84
29	東葛市民後見人の会	我孫子市	研修等の人材育成	P85-86
30	秋桜	印西市	研修等の人材育成	P87-88
31	生活クラブ	佐倉市	インフォーマルサービスの提供	P89-90
32	地域創造ネットワークちば	千葉市	インフォーマルサービスの提供	P91-92
33	若松台三丁目自治会	千葉市若葉区	インフォーマルサービスの提供	P93-94
34	法典ひまわりたすけあいの会	船橋市	インフォーマルサービスの提供	P95-96
35	たすけあいスプーン	野田市	インフォーマルサービスの提供	P97-98
36	なのはな会	野田市	インフォーマルサービスの提供	P99-100
37	佐倉市社会福祉協議会	佐倉市	インフォーマルサービスの提供	P101-102
38	習志野市社会福祉協議会	習志野市	インフォーマルサービスの提供	P103-104
39	住まいるへるぶ	柏市	インフォーマルサービスの提供	P105-106
40	デイヘルプ	我孫子市	インフォーマルサービスの提供	P107-108
41	鎌ヶ谷市社会福祉協議会	鎌ヶ谷市	インフォーマルサービスの提供	P109-110
42	四街道市社会福祉協議会	四街道市	インフォーマルサービスの提供	P111-112
43	山武市社会福祉協議会	山武市	インフォーマルサービスの提供	P113-114
44	日替わりシェフの店さくらそう	四街道市	その他	P115-116
45	香隣会	香取市	その他	P117-118

市民活動団体における 地域支え合い活動の取り組み状況



市民活動団体における地域支え合い活動の取り組み状況

千葉県内の地域支え合い活動の実績、効果及び課題を把握するため、市民活動団体232件に対してアンケート調査を実施しました。

- アンケート調査結果から、千葉県内での「地域支え合い活動」では、「サロン活動」「見守り活動」「インフォーマルサービスの提供」「研修等の人材育成」に取り組んでいる団体が多く見られました。

<千葉県における主な地域支え合い活動>

◆サロン活動

日頃外出する機会が少なくなりがちな高齢者や障害者、子育て中の方が、仲間を作り、地域で支え合うための交流の場所を提供・運営する活動。

◆見守り活動

高齢者の単身、夫婦のみなど地域の目が行き届きにくい世帯に対して、高齢者の変化に早めに気づき、安否確認や必要な支援を行う活動。

◆インフォーマルサービスの提供

様々な課題を抱えている高齢者や要介護者一人ひとりのニーズに対して、より柔軟なサービスを提供する、公的な制度によらない生活支援活動。

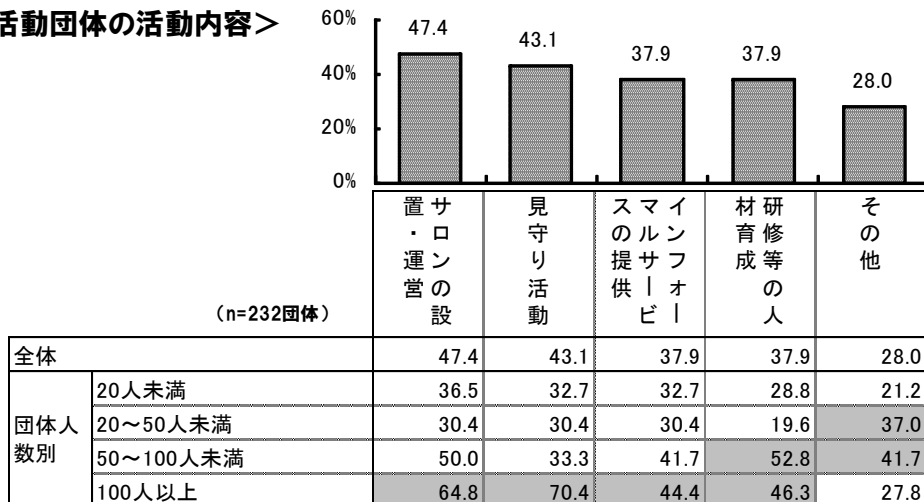
◆研修等の人材育成

高齢者への声かけ・見守りを行うことを目的とする組織の育成など、地域支え合い体制の構築に資する人材の育成を行う活動。

(1)活動内容

- ・「サロン活動」が47.4%と高くなっており、特に取り組んでいる団体が多く見られました。
- ・ある程度団体人数の規模が大きいところでは、「人材育成」にも注力している様子が見えがえます。
- ・複数の地域支え合い活動に取り組む団体が比較的多く見られました。

<市民活動団体の活動内容>



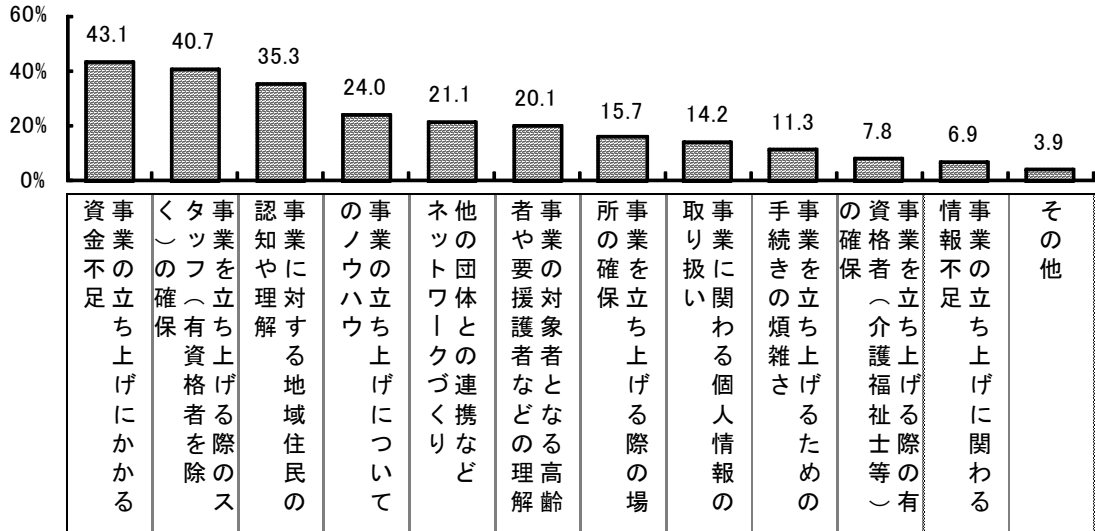
全体比: プラス5ポイント以上

※全体の%より、5ポイント以上高いものに網掛けをしています。

(2)活動立ち上げの際に直面した問題

・「資金不足」「スタッフの確保」「地域住民の認知・理解」の3つが、立ち上げ時の大きな問題となっています。

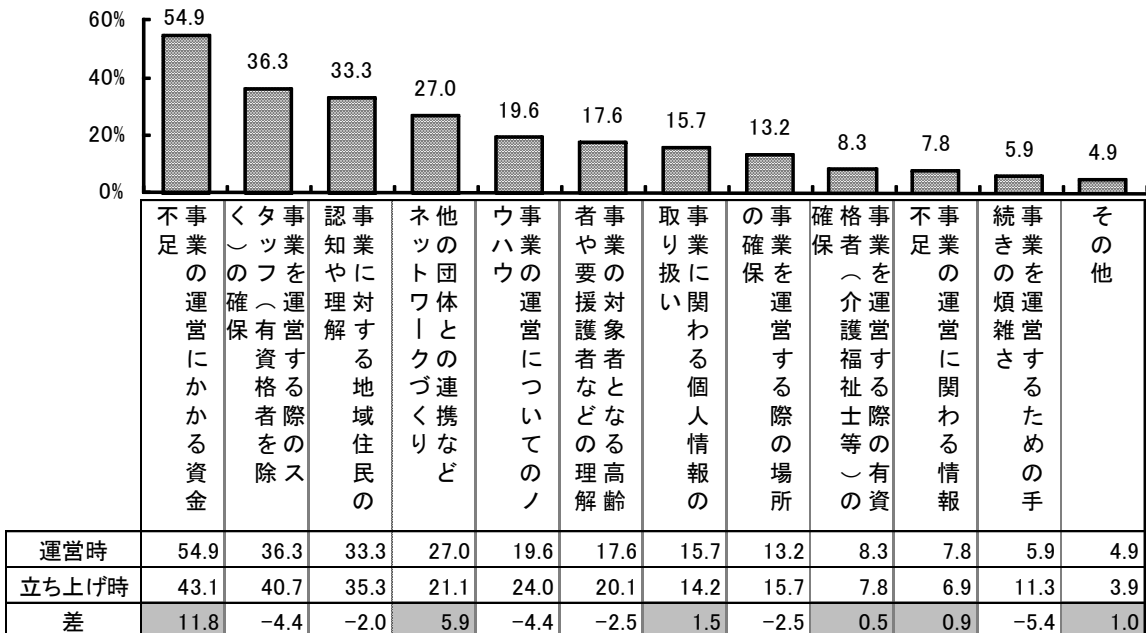
<市民活動団体 立ち上げ時の課題>



(3)活動を運営していく上で直面した問題

・運営でも「資金不足」「スタッフの確保」「地域住民の認知・理解」がトップ3になっています。
 ・特に「資金不足」は54.9%と、立ち上げ時(43.1%)よりも運営時の方が問題とあげた団体が多く、活動を継続する上で資金不足は一番深刻な問題です。
 ・その他、「ネットワークづくり」「個人情報の取り扱い」「有資格者の確保」「運営に関わる情報不足」が、立ち上げ時よりも問題とあげた団体の割合が高くなっています。

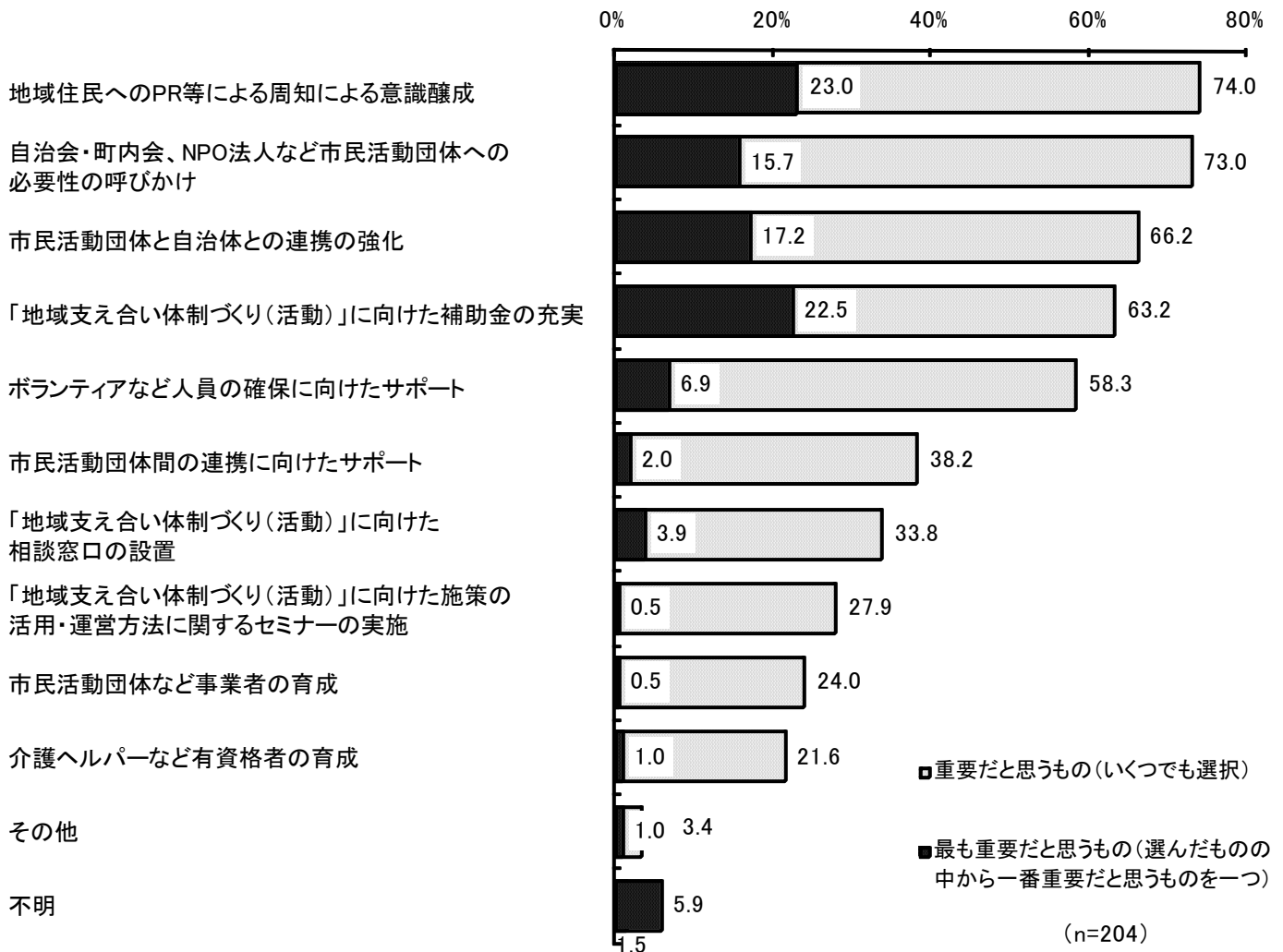
<市民活動団体 運営時の課題>



(4)地域支え合い活動を推進していく上での重要事項

- ・「地域住民の意識醸成」(74.0%)、「市民活動団体への必要性の呼びかけ」(73.0%)
 「市民活動団体と自治体との連携強化」(66.2%)、「補助金の充実」(63.2%)、
 「人員の確保に向けたサポート」(58.3%)を重要とあげた団体が半数を超えています。
- ・最も重要だと思うものでは、「地域住民の意識醸成」が23.0%とトップで、次いで「補助金の充実」(22.5%)となっています。

<地域支え合い活動推進のための重要事項>



地域支え合い活動の課題と活動団体の対応例



地域支え合い活動の課題

市民活動団体へのアンケート調査、市町村(行政機関)へのアンケート調査、市民活動団体へ個別調査の結果から、地域支え合い活動を進めていく上での課題を整理しました。

(1)資金不足

- ・立ち上げ時、運営時ともに「資金不足」を課題とする団体が多い傾向にあります。
- ・その要因としては資金計画の見込み違い等に加え、立ち上げ・運営のノウハウ不足もあるようです。
- ・補助金などの助成制度を活用し賄った団体がみられましたが、手続きの煩雑さや単年度のみで終了する補助金の使い勝手の悪さを指摘する団体もありました。
- ・活動内容に応じて要援護者から利用料金を受け取ることは、利用者にとっては逆に気兼ねせずに利用できるという意見もあり、有料化も一つの手段のようです。

(2)スタッフの確保

- ・立ち上げ時も運営時もともに、「スタッフの確保」を課題としてあげる団体が多い傾向にあります。
- ・活動を担うスタッフのほとんどはボランティアであり、60代以上の女性が多い傾向にあります。
- ・また、長年活動をしている団体では、新しいスタッフを確保できず、スタッフが高齢化するなどの問題を抱えています。
- ・こうした問題の背景には、限られた手段でボランティアを探していることや地域住民の関心の薄さがあるようです。また、ボランティアの担い手として望まれる60歳前後の層の定年年齢の引き上げが影響していると考えられます。

事業種類別：立ち上げ時に直面した問題				
	見守り活動	インフォーマルサービスの提供	サロン活動	研修等の人材育成
1位	地域住民の認知・理解	資金不足	地域住民の認知・理解	資金不足
2位	資金不足	スタッフ確保	資金不足	スタッフ確保
3位	スタッフ確保	地域住民の認知・理解	スタッフ確保	地域住民の認知・理解

※アンケート調査の結果より

【市民活動団体での問題への対処方法】

資金不足

- 千葉市社会福祉協議会 小仲台西地区部会
- ・朝日新聞厚生文化事業団の「高齢者への暴力防止助成」に応募して認可され、その資金で賄っている。

資金不足

- 地域のたすけあい市川 ユーアイ協会
- ・会費収入の他に、市川市の1%支援制度を活用。
(注参照)

スタッフ確保

- ユーアイやちよ
- ・「生活支援サポーター要請講座」を補助金で行い、その修了生に生活支援グループを立ち上げてもらった。

- 富来田ふれあいの会
- ・市の社会福祉協議会から助成を受けている。
- ・サロン活動は参加費制。

資金不足

- 恵み野会
- ・手芸品等の販売。

資金不足

※注：市民活動団体支援制度：市民税の1%について、市民活動団体の活動内容を住民投票によって選別し助成する制度。

(3)地域住民の認知や理解

- ・地域住民の認知や理解を課題として指摘する団体は多く、特に立ち上げ時においては、「見守り活動」「サロン活動」を手掛ける団体で、その傾向が強くなっています。
- ・「見守り活動」や「サロン活動」など地域住民の理解と協力が不可欠な取り組みでは、活動の内容や、団体に対する認知・理解などが不十分であると、利用実績も伸びないという問題も生じています。
- ・地域住民の認知・理解の乏しさは、団体・スタッフのモチベーションを低下させる点も懸念されます。

(4)事業の立ち上げ・運営に関するノウハウ

- ・新たな分野(特にインフォーマルサービスなど)に取り組む際、ノウハウ不足をあげる団体が多い傾向があります。
- ・また、その運用に際しても想定以上に費用が発生したなどの問題があるようです。
- ・活動の進め方、スタッフの手配の仕方、利用者の募集の仕方、連携先の探し方など、立ち上げ時・運営時ともに様々な場面でのノウハウが必要となるが、当事者(団体)だけでは情報収集にも限界があります。

事業種別別:運営時に直面した問題				
	見守り活動	インフォーマルサービスの提供	サロン活動	研修等の人材育成
1位	資金不足	資金不足	資金不足	資金不足
2位	地域住民の認知・理解	スタッフ確保	地域住民の認知・理解	地域住民の認知・理解
3位	スタッフ確保	地域住民の認知・理解	スタッフ確保	スタッフ確保

※アンケート調査の結果より

【市民活動団体での問題への対処方法】

認知・理解

- 常盤平自治会
 - ・広報誌を毎月発行。
 - ・広報誌を出す前に発生したニュースについては「速報」として、団地の各階段下の掲示板に掲示。

ノウハウ

- 住まいへるぷ
 - ・日曜大工等には熟知していたが、運営がわからなかったため、我孫子市の「NPO法人デイヘルプ」にて勉強させてもらった。

ノウハウ

- 八街市社会福祉協議会
 - ・活動内容は固まったが、どこから手をつけていいのかわからなかった。
 - ・そのため社協の職員を中心に民生委員や自治会を通じて地域の人からのニーズを収集するところからスタートした。

- 南房総市社会福祉協議会
 - ・「おたがいさまステッカー」「おたがいさまバッジ」を製作し、配布。

- 流山ユー・アイネット
 - ・立ち上げ時のノウハウについては、公益財団法人さわやか福祉財団から指導を受けて対応した。

認知・理解

ノウハウ



(5)他の団体とのネットワークづくり

- ・「見守り活動」や「研修等の人材育成」では、情報交換や人の派遣、拠点の融通などの面で他の団体と連携し活動を行っている団体がみられます。
- ・その一方で、活動を立ち上げ・運営していく上で、他の団体とのネットワークづくりを課題としている団体もあります。
- ・特に、立ち上げ時では、「研修等の人材育成」に取り組む団体で課題としてあげる傾向がみられます。

(6)個人情報の収集、利用

- ・孤立死の防止や災害・緊急時の対応などを目的とした「見守り活動」では、立ち上げ時・運用時ともに個人情報の取り扱いに関する課題に直面している団体が多くあります。
- ・地域支え合い活動の中でも、見守り活動は高齢者等の要援護者の不測の事態に対応することを想定した取り組みであるため、地域で過不足なく見守り活動ができるよう、対応策を検討する必要があります。

【市民活動団体での問題への対処方法】

ネットワーク

●住み続けたい

まちづくりの会

- ・近くの大学（城西大学）との連携関係を作り、大学の先生を呼んで説明会等を年に数回開催。

個人情報

●矢切地区社会福祉協議会

- ・他の団体と個人情報を共有しなければいけない点等は、民生委員と協力することで対応しているが、完全に問題解決とは至っていない。



●大宮台自治会

- ・高齢者見守りネットワーク制度は牛乳配達所、宅配業者、電気・ガス・水道の検針者と提携・協力し実施している。

ネットワーク

●千葉市社会福祉協議会小仲台西地区部会

- ・民生委員から毎年、独居高齢者の情報が入るが、高層マンションに住んでいる独居高齢者の情報が入らない問題がある。マンションの管理人に独居高齢者について把握してもらうよう依頼した。

個人情報

ちばSSKプロジェクト

- 千葉県では、県民一人ひとりが具体的な行動を起こすきっかけづくりとなるよう、「ちばSSKプロジェクト」として、県民フォーラムやDVD制作、街頭PRなどの啓発事業を実施しています。（SSK・・・Sはしない、S=させない、K=孤立化の頭文字）
- 孤立化を防止するための啓発DVDは千葉県ホームページ「インターネット放送局」でもご覧いただけます。社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会等における定例会、研修会等で是非ご活用ください。



★地域支え合い体制づくりの推進に向けた課題と解決方法 まとめ

